

未来へつなぐ まちづくりは人づくり
～甲斐の国から ともに～

日本女性会議 2021 in 甲府

2021(令和3年)
10月22日・23日・24日



日本女性会議
2021 in 甲府

開催場所

YCC 県民文化ホール・山梨学院大学

主 催

日本女性会議 2021 in 甲府実行委員会・甲府市

特設サイト



1日目 10月22日(金)

12:30~13:05 アトラクション
13:10~13:30 開会式
13:30~14:00 基調報告
14:15~15:15 記念講演
15:30~17:00 シンポジウム (11:00~18:00 物産展)

会場：YCC県民文化ホール

アトラクション	12:30~13:05
開会式	13:10~13:30
基調報告	13:30~14:00
記念講演	14:15~15:15

～私の仕事から～



学校を卒業して以来、どのように仕事とつき合ってきたかをお話したいと思います。
私が大学を卒業した年は大変な就職難で、多くの女子学生は結婚への道を選びました。
私は作家への道を歩きましたが、ここには男女差別はほとんどありませんでした。熾烈な競争が待っていたのです。努力したことが必ずしも報われる世の中ではありませんが、女性であることが不利に働くことは絶対に防がなくてはならないと考えます。

講師 林 真理子（作家）

1954年、山梨市に生まれ、山梨県立日川高等学校、日本大学芸術学部を卒業。
コピーライターとして活躍後、1982年に初めて刊行したエッセイ集「ルンルンを買っておうちに帰ろう」がベストセラーとなる。
1984年、「星影のステラ」が直木賞候補となったことを機に執筆に専念。1986年、「最終便に間に合えば」「京都まで」で第94回直木賞を受賞し、作家としての地位を確立した。

その後も、1995年に「白蓮れんれん」で第8回柴田錬三郎賞、1998年「みんなの秘密」で第32回吉川英治文学賞、2013年「アスクレピオスの愛人」で第20回島清恋愛文学賞など多数の文学賞を受賞。2018年には紫綬褒章受章。2020年には「同一雑誌におけるエッセイの最多掲載回数」としてギネス世界記録™認定。同年、第68回菊池寛賞受賞。その後も、多彩なテーマの作品を発表し続けている。

シンポジウム 15:30~17:00

日本女性会議38年目の総括と未来～日本女性会議2021 in甲府からの提案～

日本女性会議は、甲府大会で38年目を迎えます。

大規模災害やコロナウィルスの蔓延等、社会環境が大きく変化する中、未来に向けて個人の価値観や地域づくりの考え方も、大きく変えることができる転換期であると考えます。

このシンポジウムにおいては、男女平等社会の実現に尽力してこられた社会学者の上野千鶴子氏と、日本女性会議を支えた実行委員長の皆様とともに、日本女性会議がもたらした功績や意義等を振り返り、曲がりかどに立つ日本女性会議の今後の在り方についてディスカッションし、男女平等参画社会・女性活躍社会の実現を加速させるための、日本女性会議の役割や取組みについて提案します。



メインシンポジスト 上野 千鶴子 (社会学者・東京大学名誉教授 認定NPO法人WAN理事長)

富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人WAN理事長。第20~22期学術会議会員。第25期日本学術会議連携会員。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

1994年『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。2011年度「朝日賞」受賞、受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」。2019年、フィンランド共和国からHän Honours受賞(長年の男女平等への貢献に対する感謝状)。2020年、「アメリカ芸術科学アカデミー会員」に選出される。



コーディネーター
2021年甲府大会
実行委員長
風間 ふたば



シンポジスト
2017年芦小牧大会
実行委員長
高橋 雅子



シンポジスト
2018年金沢大会
実行委員長
八重澤 美知子



シンポジスト
2019年佐野大会
実行委員長
藤井 佐知子



シンポジスト
2020年別谷大会
実行委員長
山根 真理

～大会運営に関する新型コロナウイルス感染症対策について～

- スタッフ、来場者の検温の実施。
- 来場者が距離をおいて(最低1m)並べるよう徹底。
- スタッフ全員のマスク着用。
- 会場内の座席間隔の確保。
- 入場口や各所に消毒液等を設置。
- 会場内の十分な換気を実施。

来場者にできる限り安心してお楽しみいただけるように、各種公的機関のガイドラインに則り感染症対策を実施いたします。
新型コロナウイルス感染拡大状況により、インターネット配信のみに切り替える場合がございます。

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、出演者、プログラム内容及び開催形式の変更(開催中止や動画配信等)が生じる場合がございます。

2日目 10月23日(土)

9:20~10:50 分科会（第1部）
11:40~13:10 分科会（第2部）
14:10~14:30 アトラクション
14:30~15:10 特別講演
15:20~15:50 分科会報告
15:50~16:20 閉会式（9:00~17:00 物産展・マルシェ）

会場：山梨学院大学

分科会（第1部）	9:20~10:50
分科会（第2部）	11:40~13:10
アトラクション	14:10~14:30
特別講演	14:30~15:10

オリンピック・パラリンピックの意義とは ~そのレガシーの発展と継承~



組織委員会は、コロナ禍を乗り越えて、オリンピック・パラリンピック東京大会を成功させ、その意義を広く皆様方と共有し、感動を分かち合うために活動してきました。また、東京大会は、「多様性と調和」を大会ビジョンに掲げ、大会を契機としたジェンダー平等の推進にも力を入れて取り組んでまいりました。組織委員会はご存じの通り時限組織ですが、この取り組みが東京大会のレガシーとして、社会を変える契機となり発展、継承されることを願っています。日本社会が持続的に発展するために女性活躍は不可欠です。誰一人取り残さない社会の実現に向けて、一人ひとりの声に連携し、力を尽くしてまいります。

講師 橋本 聖子（東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長、参議院議員）

1964年、安平町早生まれ。3歳からスケートを始め、冬季オリンピック・サラエボ大会を皮切りに、冬季大会（スピードスケート）4回、夏季大会（自転車競技）3回、あわせて7回のオリンピックに出場する（女子として日本最多記録）。1995年、参議院議員自由民主党比例代表区に初当選、現在5期目。北海道開拓総括政務次官、参議院文教科学委員長、外務副大臣、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、女性活躍担当大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当）等を歴任。現在、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長。当選以来、スポーツを通じた国際交流、建物環境の向上、幼児教育の充実、子育て支援、バリアフリーの街づくり等に精力的に取り組んできた。国内外を飛び回る毎日だが、プライベートでは三男三女の母親でもある。座右の銘は、細心大胆。

分科会報告	15:20~15:50
閉会式	15:50~16:20

インターネット配信について

- 外出を控えたい方
- 遠方にお住まいの方
- 時間に限りのある方

2日間の大会開催内容をインターネットにて録画配信いたします。
配信期間中は、お好きな時間にシンポジウム・分科会等ご視聴いただけます。

配信期間

令和3年10月24日(日)10時～10月30日(土)17時

配信予定 講演等

- 1日目 全体会**
- アトラクション
 - 開会式
 - 基調報告
 - シンポジウム

- 2日目 全体会**
- アトラクション
 - 分科会報告
 - 閉会式

分科会 ※視聴可能な分科会は以下となります。

- | | |
|------------|-------------|
| 第1分科会(第2部) | 第6分科会(第1部) |
| 第2分科会(第2部) | 第7分科会(第2部) |
| 第3分科会(第1部) | 第8分科会(第2部) |
| 第4分科会(第1部) | 第9分科会(第1部) |
| 第5分科会(第2部) | 第10分科会(第1部) |

※視聴には、インターネット参加の事前申込が必要です。会場参加申込ではご視聴いただけません。また、複数でご視聴いただく場合は、視聴される人数分のお申込みをいただき、視聴の際は各自責任の下、三密を避けるなど、感染対策の徹底をお願いします。

※視聴にはパソコン、タブレット端末、スマートフォン等の機器と、インターネットへの接続環境が必要です。インターネット通信費、回線費などは、ご自身のご負担となります。データ通信量が多くなることが想定されるため、安定したインターネット環境（Wi-Fi等）のご利用を推奨します。

※配信動画の保存・拡散は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

※準備状況により、2日目の分科会等の配信については遅れる場合がございます。ご了承ください。

～ご来場の皆様へ 新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い～

- 検温実施にご協力ください。(37.5℃以上の方は入場をお断りする場合がございます)
- 参加時は不織布マスクを正しく着用してください。
- こまめな消毒、手指洗いをお願いします。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況(緊急事態宣言等)及びお住いの市区町村からの情報等に従っていただきますようお願いします。

- 新型コロナウイルス接触アプリ(COCOA)をご活用ください。
- 大会スタッフの誘導、指示に従っていただくようお願いします。
- 対面での会話や飲食は控え、十分な間隔の確保をお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況(緊急事態宣言等)及びお住いの市区町村からの情報等に従っていただきますようお願いします。

ご来場が困難な方はインターネット配信をご活用ください。

参加申込については、9ページをご覧ください。

10月23日(土) 分科会

分科会

1

性の多様性

多様な性と家族、パートナーシップ

～コウノドリ作者と考える多様な生き方と制度～

産婦人科を舞台にした大人気漫画「コウノドリ」の作者、鈴ノ木ユウさんをゲストにお呼びし、参加者からの質問を交え、トーク形式で進めていきます。第1部では漫画で女性同士のカップルの出産を描いた背景や取材した際の話を聞き、多様な性を生きる人々の現状を整理していきます。第2部では多様な家族の形や婚姻とパートナーシップ制度の相違点等について、家族を描いてきた鈴ノ木さんと共に考え、多様な性や人生を尊重できる制度や社会の在り方を提案していきます。



©鈴ノ木 ユウ/講談社

トークセッション

出演者			第1部	第2部
コーディネーター	富永 貴公	都留文科大学教養学部准教授	○	○
ゲスト	鈴ノ木 ユウ	漫画家	○	○
司会	飛鳥 一歩	CoPrism代表	○	○

[第1部定員] 一般 190人 甲府市民 45人 県内学生 90人

[第2部定員] 一般 250人 甲府市民 70人 県内学生 5人

分科会

2

ジェンダー・DV

ジェンダーとDVに敏感な視点で日常を見る

～ジェンダー平等は人権の問題。気づきが差別と暴力を終わらせる。～

ジェンダーが「男女差別」と「DV・デートDV」を生み出すのです。昨年來のコロナ禍は経済的・社会的の「劣位」にある女性を直撃し苦しめました。女性の貧困化を増幅させ自殺にまで追いやりました。DVなど女性に対する暴力も増加しました。ジェンダー差別に基づくさまざまな格差がこの状況を生み出したのです。本分科会では、第1部で主にジェンダーが生み出す差別の現実と課題（直接・間接差別）を、第2部で主にジェンダーが生み出す暴力であるDVなどについて語り合います。

出演者			第1部	第2部
コーディネーター	山内 幸雄	憲法学者、山梨県立大学非常勤講師	○	○
パネリスト	小川 はるみ	甲府市男女共同参画推進委員会委員・元委員長	○	○
パネリスト	小池 英幸	北杜市男女共同参画推進委員会元委員長	○	○
パネリスト	中村 京子	甲府市男女共同参画推進委員会委員	○	○
パネリスト	三井 久美子	笛吹市男女共同参画推進委員会委員・前委員長	○	○
パネリスト	望月 理子	NPO法人エンパワメントアフロッキー代表	—	○

[第1部定員] 一般 110人 甲府市民 15人 県内学生 10人

[第2部定員] 一般 105人 甲府市民 25人 県内学生 5人

パネルディスカッション

分科会

3

子どもの教育・子どもの貧困

It Takes a Village. “村じゅう みんなで”

～よそのボコも うちのボコ おらが村をこせえるじゃん～

第1部:講演会

第2部:ワークショップ

「子どもをひとり育てるのに、村がひとつ必要だ」というアフリカのことわざがあります。少子高齢化・子どもの貧困・いじめ・自己肯定感の低さなど様々な問題があり、豊かに育つていける環境に繋がれない子ども達がいることも事実です。第1部では、お二人の講師から「現代の子どもたちにおきていること」を伺い、その課題解決のためのご提案や先駆的な実践事例等の紹介をして頂きます。第2部では、「子どもが真ん中のまちづくり」をテーマに、皆さんと一緒にワークショップを行い、ひとりの子の育ちに多様な人が関わるまちをつくるために“私たち一人ひとりに出来ることは何なのか?”を考え、今後の取り組みのきっかけづくりをしたいと思います。

※ボコ:甲州弁で「子ども」のこと。

出演者			第1部	第2部
講師アドバイザー	荒牧 重人	山梨学院大学法學部教授	○	○
講師アドバイザー	津富 宏	静岡県立大学国際関係学部教授	○	○
発表者	地域での実践者		○	○
司会	芦澤 郁哉	NPO法人bond place理事	○	○

[第1部定員] 一般 210人 甲府市民 50人 県内学生 90人

[第2部定員] 一般 40人 甲府市民 5人 県内学生 5人

分科会

4

ワークライフバランス

ダイバーシティ・インクルージョン 働き方改革と男性の在り方

～新しい生活様式に、子育て介護に男女とも！役割を果たす今をつくろう～

パネルディスカッション

※◎はメイン講演者

出演者			第1部	第2部
講師・コーディネーター	伊藤 公雄	京都産業大学現代社会学部教授・ダイバーシティ推進室長	○	○
講師・コーディネーター	石井 クンツ昌子	お茶の水女子大学理事・副学長	○	○
司会・ファシリテーター	黒田 浩司	山梨英和大学人間文化学部教授	○	○
司会・ファシリテーター	劉 楠	山梨英和大学人間文化学部専任講師	○	○

[第1部定員] 一般 105人 甲府市民 20人 県内学生 40人

[第2部定員] 一般 120人 甲府市民 40人 県内学生 5人

分科会

5

女性活躍

女性が起業するワケ

～やりたいことをカタチに。その一歩を今～

ワークショップ

Can-Pass実践報告とワークショップ

甲府市主催「女性起業等支援事業Can-Pass」は、「自分のやりたいこと×仲間のやりたいこと」の化学反応を探り、女性の可能性をカタチにしてきました。時間や環境の変化に制約されがちな女性にとって、柔軟に働ける環境を整える事は至難の業です。ないからあきらめる。ではなく、ないなら必要な仕事を、ルールを、自分で作る。それは「働くと暮らし」どちらも犠牲にしないという選択です。「でも私に何ができる?」に寄り添った2年間で見えてきたのは「自分らしくあること」を大切にした起業等への想いでした。 *参加者にはCan-Passオリジナル起業等テキストプレゼント

出演者			第1部	第2部
コーディネーター	加藤 香	NPO法人bond place理事	○	○
ファシリテーター	小笠原 祐司	山梨学院大学学習・教育開発センター特任講師	○	○

[第1部定員] 一般 25人 甲府市民 10人 県内学生 15人

[第2部定員] 一般 35人 甲府市民 15人 県内学生 0人

分科会

女性活躍

6

これでいいのだ、私の人生。私がわたしの未来を創る。

～就職、結婚、生きる意味。～

ワールドカフェ

就職のこと、結婚のこと、生きる意味、その他日々のモヤモヤをワールドカフェ（注）による対話を通じて考えていきます。

対話の導入として、第1部は、木下紫乃さんから「50歳からの人生」について、第2部は、山梨大学リカレント教育プログラムの卒業生から「キャリア」について、お話ししていただきます。対話後には私の「これでいい」を発見でき、さらに他者の「これでいい」を認める気持ちになれるはずです。

Our session is going to be conducted both in Japanese and English, and we will prepare tables for English speakers only. We're looking forward to see you in session!

出 演 者			第1部	第2部
コーディネーター	渡辺 郁	(株)アンサーノックス代表取締役	○	○
ファシリテーター	木下 紫乃	(株)ヒキダシ代表取締役社長 「スナックひだし」紫乃ママ	○	-
ファシリテーター	山梨大学リカレント教育プログラム卒業生		-	○

【第1部定員】一般 25人 甲府市民 10人 県内学生 15人

【第2部定員】一般 30人 甲府市民 10人 県内学生 10人

（注）ワールドカフェとは、カフェでくつろいでいるようならラックスした雰囲気のもと行われる対話のことです。参加者は4~5人ずつに分かれ対話をし、一定時間が過ぎれば、メンバーを入れ替え、対話を繰り返します。

分科会

食育・農業

7

未来へつなげる「農業・食」の魅力

～守り引き継ぐ山梨の宝～

パネルディスカッション

山梨は食材の宝庫。豊富な日照時間、昼夜の寒暖差などの自然の恩恵を受け、年間を通して様々な農産物が生産されています。農業が山梨の主要な産業の一つである一方、近年では、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は深刻な問題も抱えています。

第1部では、直面するこれらの課題を考え、今後も農業が維持され、更に発展していく方策を探ります。第2部では、子どもから大人までが様々な体験を通して食や農業への関心を高め、農業や地域の魅力を再発見し、地域への愛着を育む「食育」についても考えます。

出 演 者			第1部	第2部
コーディネーター	田中 進	(株)サラダボウル代表取締役	○	○
パネリスト	織田 久美子	(株)ヴァインヤード甲斐国物語 代表取締役	○	○
パネリスト	菅沼 祐介	菅沼農園代表	○	○
パネリスト	村上 由実	甲府市×野菜ソリューションプロジェクト こうふるふあーむ代表	○	○

【第1部定員】一般 100人 甲府市民 20人 県内学生 15人

【第2部定員】一般 110人 甲府市民 25人 県内学生 0人

分科会

環境

8

環境から考える地域の未来

～外国人住民・大学生がみつけた発見～

パネルディスカッション

持続可能性が重視される今、老若男女が分け隔てなく取り組むべき、地域の環境と共生した暮らし方が大切です。本分科会では、山梨と環境をテーマとし、外国人住民や大学生の視点から、未来の持続可能な地域社会にむけた環境と共生する暮らしについて考えていきます。自然環境がもつ意味や経済性、またその維持の重要性を語り合い、また、地球規模の環境問題から、日本の社会問題と環境について議論し、地域の未来について考えます。

第1部では、山梨の自然を生かした観光の視点について外国人パネリストと、第2部では、山梨の環境の未来について山梨県内の大学生と考えています。

出 演 者			第1部	第2部
コーディネーター	安藤 勝洋	山梨県立大学国際政策学部教授	○	○
パネリスト	デイビット・エリス	山梨中央銀行業務アドバイザー 山梨大学客員教授	○	-
パネリスト	デイビット・フルーカ	山梨県立大学国際政策学部准教授	○	-
パネリスト	山梨大学学生(田邊晴香 中野佐耶 西川文野)		-	○
パネリスト	山梨県立大学学生(戸谷梨乃 加賀美里奈 風間千弘)		-	○

【第1部定員】一般 80人 甲府市民 30人 県内学生 25人

【第2部定員】一般 100人 甲府市民 25人 県内学生 10人

分科会

生涯活躍・健康

9

生まれてから死ぬまで地域で暮らすために

～介護・福祉・医療・教育の連携でつくる未来～

パネルディスカッション

「生まれてから死ぬまで住み慣れた地域で暮らしたい。」「温かく居心地のいい場所で最後まで暮らしたい。」そんな願いを叶えたいと活動しているパネリストの皆さんと、地域に何が必要なのかを考えます。

第1部では、パネリストの皆さんと介護・福祉・医療・教育の現場での実践についてお話しいただき、地域に必要な取組みについて共有します。第2部では、介護・福祉・医療・教育のつながりとこれから地域で何ができるかについて考えます。

出 演 者			第1部	第2部
コーディネーター	大塚 ゆかり	山梨県立大学人間福祉学部教授	○	○
パネリスト	青柳 晃子	山梨県立大学人間福祉学部准教授	○	○
パネリスト	佐竹 真紀	デイサービスセンターづく 代表取締役	○	○
パネリスト	露木 里恵	暮らしの保健室晴ればれ代表	○	○
パネリスト	前川 有希子	山梨県立大学人間福祉学部講師	○	○
パネリスト	望月 こずえ	助産院peekaboo院長	○	○

【第1部定員】一般 60人 甲府市民 20人 県内学生 20人

【第2部定員】一般 85人 甲府市民 10人 県内学生 5人

分科会

生涯活躍・健康

10

“私らしく生きる”ために
あなたは？地域は？

～私らしく生きる人生設計の可能性～

パネルディスカッション

私らしく生きるために、あなたはどんな人生設計を描いていますか？仕事をしながらいつ子どもを産んでどこでどのように子育てをするのか、そしてキャリアをどう継続し、自分らしさを磨いていくのかを考えることが充実した人生をおくる最初の一歩です。第1部では生殖医療や子育てを巡る現状や課題について、第2部では多様な価値観を政策に反映させるためにも重要な女性の政治参加についてを議論テーマとし、誰もが“私らしく自信と誇りを持って生きること”ができるようにパネリストと共に考えます。

出 演 者			第1部	第2部
コーディネーター	飯野 奈津子	ジャーナリスト・山梨大学客員教授	○	○
パネリスト	奥山 千鶴子	認定NPO法人びーの理事長	○	-
パネリスト	相良 洋子	さがらレディスクリニック院長	○	-
パネリスト	本田 灯	山梨県立大学国際政策学部3年生	○	-
パネリスト	植田 年美	甲府市議会議員	-	○
パネリスト	末木 咲子	甲府市議会議員	-	○
パネリスト	三浦 まり	上智大学法學部教授	-	○
パネリスト	大嶋 香菜子	山梨県立大学国際政策学部3年生	-	○

【第1部定員】一般 55人 甲府市民 15人 県内学生 30人

【第2部定員】一般 85人 甲府市民 10人 県内学生 5人

参加申込については、9ページをご覧ください。

※第4・第8分科会の会場は2・3階となります、階段での移動となります。

日本女性会議2021in甲府 申込案内

大会参加費

●会場参加

一般……………お一人様4,000円

1日目・2日目の講演等すべて(分科会は第1部・第2部各1つ)に参加できます。

甲府市民枠……………お一人様1,000円

2日目の分科会(第1部・第2部各1つ)に参加できます。

山梨県内学生枠……………お一人様 0円

2日目の分科会の中から1つの分科会に参加できます。

●インターネット参加…お一人様2,000円

山梨県内の学生は、無料で参加できます。

- ・新型コロナウイルスまん延防止の観点から、交流会は行いません。
- ・コロナウイルス感染拡大状況により、インターネット参加のみに切り替える場合があります。
- ・すべて消費税が含まれた価格となっております。
- ・大会参加費と弁当代は東武トップツアーズ(株)の集金代行です。

参加申込手順

参加申込期間

7/20(火)～8/31(火)

9月上旬までに予約確認書をお送りします。

9/24(金)までに

参加費等をお振り込みください。

9/30(木)までに

参加証等をご送付します。

<お申込後の変更・取消>

- 変更・取消の場合は正確さを期すため、必ず書面にてご連絡をお願いいたします。申込期限後の変更につきましては出席者名簿の変更・登載等が出来ないことがありますので予めご了承ください。
- お取り消しの場合、1名様につき下記の取消料が適用されますのでご了承ください。営業時間外の変更・取消は翌営業日扱いになりますのでご注意ください。
- お取り消し後のご返金は、取消料を差引き、大会終了後、精算いたします。
- 事務処理上、概ね1ヶ月以内に対応させていただきますので予めご了承ください。

<宿泊・エクスカーション・弁当・大会参加費お取消料について>

- 契約成立後、お客様の都合で、契約を解除されるときは、下記の取消料を申し受けます。
(宿泊プランは1泊ごと)
- <取消料一覧(お一人様)>

取消日	旅行開始日前日から起算して さかのぼって		旅行開始日の 前日の解除	旅行開始日の 当日の解除	旅行開始後の解除 または無連絡不参加	代行収受 [大会参加費]	9月22日まで	9月23日以降
	20日間 (日帰り旅行に あつては10日間) から8日まで	7日～2日前 まで						
取消料	旅行代金の 20%	旅行代金の 30%	旅行代金の 40%	旅行代金の 50%	旅行代金の 100%	代行収受 [大会参加費]	9月22日まで 無料	9月23日以降 100%
						代行収受 [大会参加費]	ご利用日の3日前 までの解除 無料	ご利用日 2日前以降 代金の100%
						代行収受 [大会参加費]	ご利用日の3日前 までの解除 無料	ご利用日 2日前以降 代金の100%

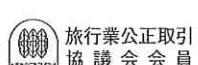
※注1) ご宿泊当日12時までに取消の連絡がない場合は無連絡不泊として取扱い、100%の取消料を申し受けます。

申込先

参加手続き
および
各種申込みに
ついての
お問い合わせ

<旅行企画・実施>

東武トップツアーズ株式会社 甲府支店



〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-17-10 東武穴水ビル7階

「日本女性会議2021in甲府」係 担当:大蔵・千野・河西

TEL:055-222-0381 FAX:055-226-0318 E-mail:jwc2021kofu@tobutoptours.co.jp

営業時間:月～金曜 9:30～17:30 土・日・祝祭日は休業

観光庁長官登録旅行業第38号 総合旅行業取扱管理者:中根 和宏

*旅行業取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引責任者です。

ご旅行の契約に際し、担当者からの説明に不明な点がございましたら、遠慮なく上記の旅行業取扱管理者にご質問ください。【承認番号:客国21-184】

申込方法

<インターネットによる申込>

大会ホームページの該当リンクから直接お申ください。
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/nadeshiko-plus/jyoseikaiji/2021moushikomi.html>



日本女性会議 2021 検索 大会案内 をクリック!

<FAX、Eメール又は郵送による申込>

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、FAX、Eメール又は郵送にてお申ください。

あて先:東武トップツアーズ(株)甲府支店内

「日本女性会議2021in甲府」係

詳しくは、下記 申込先 をご覧ください。

*申込の受付は、先着順になります。

・新型コロナウイルスまん延防止の観点から会場への参加人数を制限させていただきます。

・申込は、県外の方を優先させていただきます。(新型コロナウイルス感染拡大状況及びお住いの市区町村からの情報をもとに、参加をお断りさせていただく場合があります。)

*「参加申込書」は、一般用、甲府市民用、山梨県内学生用の3種類です。

・それぞれ該当する申込書でお申込をお願いいたします。

・会場参加とインターネット配信の両方にお申込いただくことが可能ですが、その場合は両方に○を記入してください。(参加費は、合算した料金となります。)

・学生の方は必ず学校名を記載してください。

*1日目・2日目の昼食の弁当1食1,000円(お茶付・税込)の申込についても受付ますので、ご記入ください。

・参加申込期間後の受付はできません。

・弁当は事務局の手配となり東武トップツアーズにて受付代行・集金代行を行います。なお、弁当は、旅行契約に含まれません。

*追加募集を行う場合は、大会ホームページ等でお知らせします。

*FAX、Eメール又は郵送については東武トップツアーズ営業時間内に受領した時点で受付とさせていただきます。

申込締切日 2021年8月31日(火)

<領収書について>

領収書が必要な場合は、必要事項を後日請求書と一緒に送付する領収書発行依頼書に記入の上、Eメール又はFAXにてお知らせください。

また、領収書は大会終了2週間以内を目途に郵送します。

<無料託児サービス> 東武トップツアーズ代行受付

対象:1歳～就学前(先着15名)

大会1日目・2日目は、各会場にて託児サービスがご利用できます。

8月31日(火)までにご予約いただいた方に限ります。

<大会報告書>

大会報告書につきましては、ウェブ上で公開しますので、どなたでもダウンロード可能です。公開は、2022年3月を予定しています。